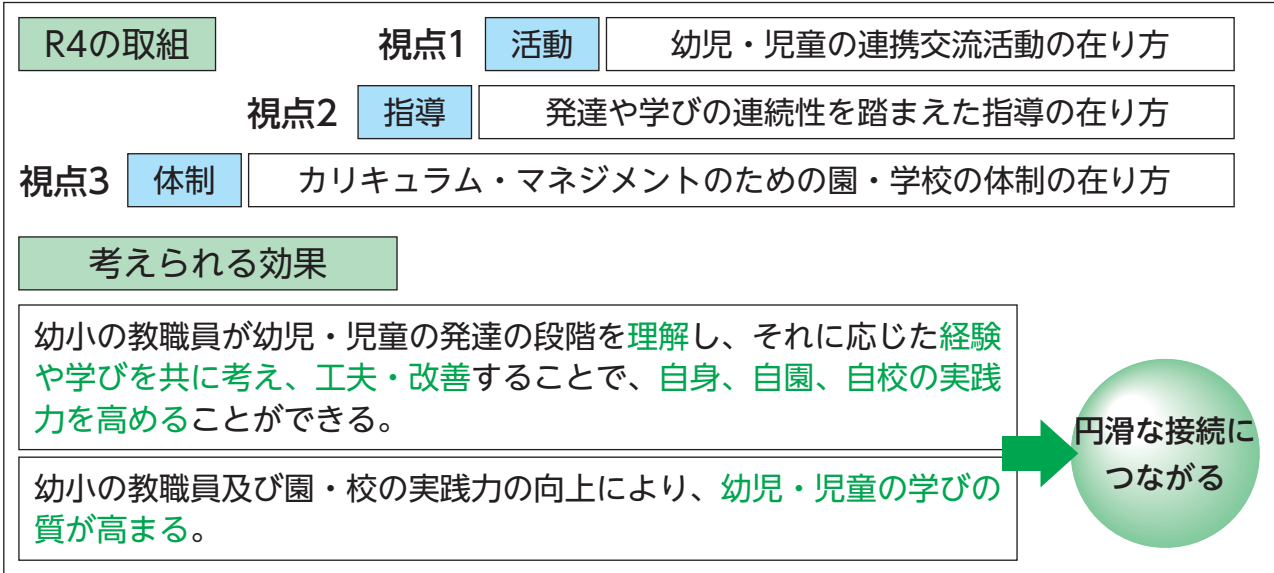


令和4年～令和5年 園・学校全体でどのような工夫ができるのか

やってみよう!

社会情勢は様々な対応を求められることが続いていましたが、目的や目指す方向を確認の上、実現可能な形や互恵性のある教育活動や取組、人が代わっても変わらない体制づくりについて3つの視点をもって推進することとしました。

R4 全市学習会資料より

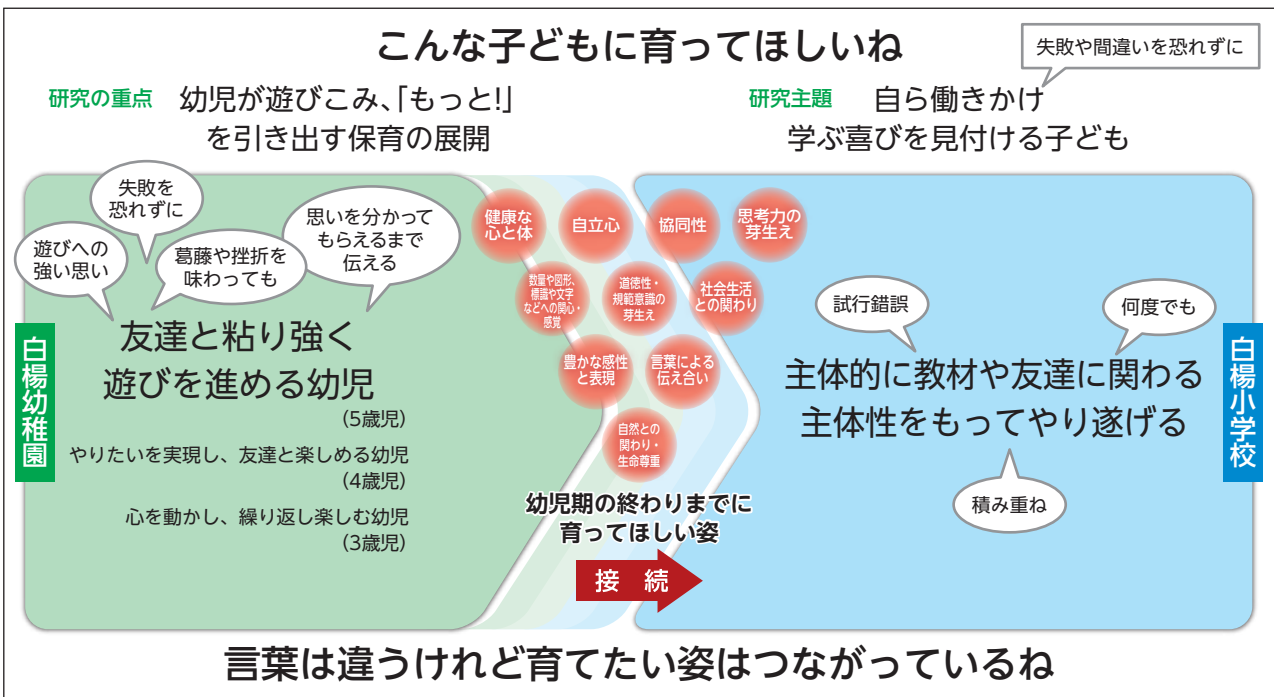


1 目指す子どもの姿を共有しよう

活動 指導 体制

取組を始めるにあたり、自園・自校の子どもたちのよさと育てたいところを改めて共有しました。互いの研究主題や研究の重点を窓口に子どもの姿を話すことで、使っている言葉は違うけれど、ねらいは共通していると分かりました。

また育ちや教育のつながりが見え、**取組の振り返りは常にここに立ち返る**ことを確認しました。



R4 全市学習会資料より